

新潟県知事 花角 英世 様
新潟県福祉保健部長 松本 晴樹 様

2022年3月4日

新潟県社会保障推進協議会 会長 五十嵐 修
新潟県民主医療機関連合会 会長 岡田 節朗
ながおか医療生活協同組合 理事長 羽賀 正人
社会福祉法人 虹のまち福祉会 理事長 星野 智
社会福祉法人坂井輪会 理事長 細貝 昌明
社会福祉法人ゆうえい会 理事長 久住 一男
有限会社カエツ 代表取締役社長 富樫 由希夫
社会福祉法人かえつ福祉会 理事長 山川 良一
社会医療法人新潟勤労者医療協会 理事長 五十嵐 修

新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

新型コロナウイルス感染第6波の拡大を防止し、県民の命とくらしを守り、経済を立て直すために連日ご尽力されていることに敬意を表します。

現在、介護・福祉施設において、介護従事者、利用者の陽性、濃厚接触者が多数出ています。クラスターが発生した事業所は事業停止になるところが多く、そのような状況でも、入居者や利用者は入院できず、多くが施設内での療養を余儀なくされ、そのための職員配置も必要となり、収入が減少している中で経費は変わらず、経営がひっ迫している現状です。

また、そのような施設の介護従事者の中には、家族の関係（妊娠中、病気の家族がいる等）で自宅に帰りたくても帰れないものもいます。中には入浴すらできず勤務を続けている職員がいる中で、法人・事業所が宿泊・休憩施設を自前で手配している現状もあり、経営のさらなる困難が生じています。医療従事者には帰宅が不安な職員（濃厚接触者ではない）向けのホテルを用意しているとのこと。介護従事者にも同様の配慮が必要と考えます。

ぜひ、地域の介護・福祉を守る観点から、下記の点についてご尽力頂きますよう、何卒宜しくお願い致します。

【お願い事項】

1. 事業所への減収補填について検討して頂けますよう、お願い致します。また、国にも制度策定を申し入れて頂けますよう、お願い致します。
2. 介護従事者が陽性・濃厚接触になった場合の、宿泊・休憩施設を、県で支援制度をつくり、自治体に周知して頂けますよう、お願い致します。

以上